

第二回 EtherCAT インターオペラビリティテストウィークを開催

EtherCAT Technology Group (ETG)が今年の初めに開催した第一回 EtherCAT インターオペラビリティテストウィークはヨーロッパを対象に開催され大きな反響がありました。そして今回は、南米、中米、北米のタイムゾーンに合わせ第二回目を開催しました。EtherCAT デバイスの開発者は製品のインターオペラビリティの改善、開発ノウハウの知識向上をこのオンラインイベントを通じて実現しました。また他の参加者とのインタラクティブな知識交流の機会を設け好評を博しました。

世の中に流通している豊富な EtherCAT 対応デバイス数からみて EtherCAT が世界中で広く受け入れられていることがわかります。ETG は、これらのデバイスが現場で干渉なく動作し、相互に互換性があることを保証するために、コンFORMANCEテストに加え、インターオペラビリティの改善をサポートするイベントを年に数回開催しています。そのようなイベントの1つが EtherCAT インターオペラビリティテストウィークであり、第二回目の開催では主にアメリカからの参加者を募りました。ウェビナーセッションに加えて、1対1エキスパートセッションでは、デバイスメーカーが個別に ETG のスペシャリストと直接 EtherCAT の実装についてアドバイスを受け、開発およびインターオペラビリティに関する知識を共有しました。

参加者は 5 カ国、25 社以上の企業から集まり、EtherCAT Conformance Test Tool (CTT)、EtherCAT Slave Stack Code (SSC)、EtherCAT Slave Configuration Interface (SCI)、Safety over EtherCAT (FSoE) の実装をテーマにしたセミナーに耳を傾け、Q&A セッションに参加、そしてエキスパートセッションにおいて個々の実装に関する問題点を解決しました。

EtherCAT のエキスパートであり、ETG 技術委員会のチェアマンである Dr. Guido Beckmann は、このイベントについて次のように述べています。"EtherCAT イン

ターオペラビリティテストウィークは、デバイスメーカーにとって、デバイスを現場で使用する前に、インターオペラビリティを改善および向上させる最良の機会です。ETG は長年にわたり EtherCAT Plug Fest を世界各国で開催し経験を積み、成功へと導いてきました。オンラインでの開催により COVID-19 の影響を受けることなく開発者と ETG エキスパートとの交流を継続できることを嬉しく思います。"

このイベントの成功を受けて、今後 EtherCAT インターオペラビリティテストウィークは日本、中国、韓国でも開催します。すべての日程は、オンライン (www.ethercat.org/events) で確認できます。

The EtherCAT Technology Group (ETG) は EtherCAT をオープン化し、テクノロジーの普及をはかるグローバル組織です。ETG の拠点は本部のあるドイツ、日本、アメリカ、中国、韓国にあり技術支援に力を入れています。2003年に設立された ETG は、現在メンバ数は 6200 社、69 カ国からの参加社で構成されています。

EtherCAT は業界最速の産業用イーサネット技術であり、高性能、低コスト、使いやすさと柔軟なトポロジを特長としています。2003年に発表後、国際標準規格としての認証を取得し、その後 2007年に SEMI 規格の認証を取得しました。EtherCAT Technology Group が EtherCAT の継続的な開発と推進を担っています。EtherCAT は、誰もが実装または使用することが許諾されているオープンな技術です。

詳細情報 www.ethercat.org

プレスコンタクト:

EtherCAT Technology Group

Christiane Hammel
Ostendstraße 196
90482 Nuremberg
Germany

Tel.: +49 (911) 5 40 56 226

Fax: +49 (911) 5 40 56 29

press@ethercat.org

www.ethercat.org/press